

危俱したところで終わりました。

日暮庵に行き、昔は「海・陸豊前街道」、両筑街道「堀田鳥居線」の分岐点に位置していた交通の要、古くは文政五年に堀七衛門が改築したという。以後の改築碑も境内に建てられている。途中野口墓地で旧割烹なるみ高岸家の墓石を見学、野津原の七瀬川から運んだという大きな堅い石でした。

野口に入り、野口中央温泉看板題字、甲斐家の住居で油商人をしていたころの江戸時代の土蔵造り、延命地蔵尊を見学。さらに足を延ばし財閥酒舗、山田別荘などについて説明があったが、途中話がかわって矢島先生が、境川のことを話してくれました。

境川小学校は昭和三十九年に野口小学校の境川分校として建てられました。現在は生徒数五五〇人です。今の河川は一級河川で七キロ上流は家庭用水道として利用されています。

江戸時代に水害があつて、昭和九年頃からコンクリートで防壁を造った。川中に見られるのは別府石で、鶴見山の噴火で流出した石が流れて丸くなり、三色からなっているという。

正式には角閃安山岩と云いますが通称別府石です。

北浜方面に入り、大分市鶴崎の代官惣庄屋の家屋を移した秋吉邸に行きました。塀は阿蘇の石ということですが、鶴崎

が肥後領であったからということで、昭和二十年に秋吉医師家の所有となったとのこと。

西本願寺別院を訪れました。晩年別府に居住した西本願寺二世法主でシルクロードを探検した大谷光瑞の記念館がありました。私は用事のため見学出来なかつたので分かりませんでした。最後の海門寺には、しぐれ松があります。なお横手には昔墓地が沢山ありましたが全部野口に移されたそうです。

以上私の思いつきの感想文です。市内探訪に参加して、他の人にも見てもらつたらと思いました。私自身も別府市内に数々知らないところがあります。今日は猛暑の中、楽しく探訪が出来勉強になりました。後日を楽しみにしています。先生方、皆様方大変お疲れさまでした。

平成十九年八月二十六日

市内探訪記

中 根 剛 誠

今年には氣象庁が「猛暑日」を氣象用語に特定するほど、猛暑が続いた。八月二十六日、境川小学校に集まつた九時半も既に炎暑。暑さに抗いつつ、役員の矢島さんと三重野さんの

案内にしたがって訪れた何カ所について感想を記したい。

別府大仏跡・一生庵^{いっせい}

十八メートルを越える別府大仏は、実は近くで見たことはなく、何回か昔汽車の窓から拝んだだけである。平成元年に老朽化のため取り壊されたという。今は一生庵の中に十分の一のレプリカが安置されている。この一生庵は普段は解放されていないが、史談会のために特別に見せていただくことができた。一歩足を

踏み入れて驚いてしまった。鹿児島の一覧特攻平和記念館に入った時と同じ衝撃だった。特攻兵の遺影や遺品等の展示場だったからだ。この庵については予備知識が皆無であったが、見学後、一生庵を管理している湯布院町



一生庵鎮魂の部屋

仏山寺の足利宗彦住職から説明を受けた。昭和十八年に海軍飛行専修予備生が学徒出陣し、散華した英霊百六十六柱を祀っているという。若くして命を捧げた同期生の鎮魂のために各地から遺品等を集め、展示したと語る住職は八十五歳。毎年六月には同期の方々やご遺族を集め、追善法要を行っているということであった。

過日、奇しくも、戦友から集めた戦時中の資料や遺品を自宅の地下に展示し、「予科練資料館」として無料で開放しているという大分市上野が丘の男性（八十一歳）の新聞記事を読んだ。戦友を供養し、二度と戦争を起こしてはならないというメッセージを未来に伝えようとするご高齢の戦争体験者達の思いは尊く、頭が下がる。

寄せ書きに雄々しき言葉残せしも

遺影に見ゆる幼さ哀し

日暮庵

浜脇崇福寺の分院で昔は日暮庵といい、江戸時代は豊前街道と両築街道の交差点にあつて交通の要衝であつた。此処にあつたと推測される道標が市立美術館にあると聞き、行つてみた。東西南北ではなく、珍しく右、左で示す標石柱だつた。

日暮庵は今は公民館として活用され、この日は子どもたちの書道教室が開かれていたようだった。



豊前街道道路標識

天満神社

天満社といえば祭神は菅原道真。一富士、二鷹、三茄子などの敷石やライオン、牛などの像があり珍しい。樹齢六百年のサイカチは御神木。享保の大水害で流されたという鳥居の残骸が最近発見され、境内の傍らに無造作に積まれていた。

御社の由緒来歴蟬しぐれ

本願寺別府別院

史跡探訪といえば古刹が多いが、別院は新しく昭和七年の創設である。大谷光瑞が鉄輪で遷化したのを記念して本願寺別府別院に昇格したということである。境内に隣接する大谷記念館は、シルクロード大谷探検隊等の史料や記念品が集められている。二十年ほど前、敦煌、トルファン、カシユガル

等を旅したことを思い出させてくれる記念館だった。

炎天下の二時間半の行軍でかなり消耗したが、事前の注意にしたがって十分な水分補給をしながらの見学だったので落伍者もなく有意義な探訪だった。今更ながら、熟年シルバーパーワーのたくましさを感じさせられた。計画、準備、案内をしてくださった役員の方々にあらためて感謝したい。

市内探訪の記

川野 惣平

八月二十六日(日)

暑い。今日も朝から太陽がぎらぎら連日の猛暑のまた始まり。九時半に境川小学校正門前に集合となっていたが、木陰をぬってゆっくり歩こうと思えば早めに家を出た。会員以外の人も誘ってとあったが、私などが誘うのは高齢者ばかり、若し流行の熱中症にでもなったら責任が持てぬのでそれは止めた。

学校は、家からは下り、木陰も多いので足は軽い。時間より大幅に早く着いたが、着いてびっくり。せいぜい六、七名ではなかるうかと危惧していたが、なんと三〇名近く。私が